

ロシア科学アカデミー図書館所蔵 **川原慶賀の植物図譜**

とき・4/8(土)~5/21(日)

ところ・2階展示室

内容・江戸時代後期、長崎の出島への出入りを許された絵師、川原慶賀はシーボルトの要求に応じて西洋画法を習得し、姿かたちを正確にうつした植物画を数多く制作しました。シーボルトがヨーロッパに持ち帰り、現在ロシア科学アカデミー図書館が所蔵する植物図譜を中心に、国内所蔵の作品や資料も加えて、慶賀の眼をたどります。

(会期中に一部展示替えあり)
観覧料・一般1000円(800円)、大高生800円(640円)

※()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。



《クサボケ》1824-1828年頃、ロシア科学アカデミー図書館蔵(Russian Academy of Sciences Library), St. Petersburg 2017

《関連イベント》

○講演会「川原慶賀の長崎歳時記」

とき・4/15(土) 15:00~16:30(14:30開場)

ところ・2階講堂

内容・川原慶賀が暮らした江戸後期の長崎は、どんな様子だったのでしょうか。精霊流しやくんちなどの長崎らしい祭から、一般的な年中行事まで、現代の生活にも通じる歳時記と、植物画とはまた違った慶賀作品の世界をご案内します。

講師・下妻みどり(ライター、『川原慶賀の「日本」画帳』編著者)

定員・100名(当日先着順)/費用・無料

○講演会「川原慶賀の植物図譜」

とき・4/23(日) 15:00~16:30(14:30開場)

ところ・2階講堂

内容・シーボルトに見出された長崎の絵師、川原慶賀。ロシアに伝えられた慶賀の植物図譜の特徴とその魅力について、シーボルトとの交流や江戸時代の植物学の興隆といった時代背景とともにご紹介します。

講師・大場秀章(東京大学名誉教授)

定員・100名(当日先着順)/費用・無料

○ミュージアム・コンサート

とき・①4/22(土) 15:00~ 出演・川嶋哲郎(サクソ、フルート)
②5/7(日) 15:00~ 出演・井上陽介(ベース) / 各日とも開場は30分前、演奏時間は約60分

ところ・地階センター・ホール

内容・ジャズプレイヤーの枠を超えて活躍中のミュージシャンが花にまつわるナンバーなどをお届けします。

定員・60席(当日先着順)/費用・無料

○担当学芸員によるギャラリー・トーク

とき・4/29(土・祝)、5/13(土) 各日とも 15:00~15:30

ところ・2階展示室/費用・企画展観覧料が必要です。

[スライド・トーク]ご希望のグループにスライドを使って本展覧会の見どころをご案内します(予約制)。お問い合わせ・ご予約は教育・広報担当(電話 048-824-0110)まで。

アート体感ワークショップ MOMASのとびら

4月から「MOMASの扉」が「MOMASのとびら」になりました!

とき・土曜日 13:30~15:00

対象・幼児から大人まで/費用・「工房」は材料費500円。その他は無料。/申込方法・館内で配布する申込用紙により1階総合受付またはFAXでお申し込みください。申込用紙はホームページからもダウンロードできます。

5月分の申込みを4/1(土)から受け付けます。

5/5(金)・5/6(土) もますまつり[※申込不要]

5/13(土) みる+つくる(企画展物語)[小・中学生]

5/20(土) 彫刻あらいぐま[小・中学生+保護者]

5/27(土) 工房[小学生から大人まで]

6月分の申込みを5/1(月)から受け付けます。

6/3(土) み〜つけ! [4~6歳(未就学児)+保護者]

6/10(土) アート★ビンゴ[※申込不要]

6/17(土) 工房[小学生から大人まで]

6/24(土) 親子クルーズ(MOMASコレクション)[小・中学生+保護者]

MOMASコレクション(収蔵品展)

2017年度 第1期

とき・4/22(土)~7/16(日)

ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。

◇セレクション：モネとカルオとか

当館の象徴であるモネの作品をはじめとする西洋近代絵画の名品に、日本の近代絵画を交えて紹介します。

◇色を織り、光を綴る一斎藤豊作の絵画

埼玉県ゆかりの洋画家で、日本の近代美術に大きな足跡を残した斎藤豊作の画業を、新収蔵作品を交えてたどります。

◇院展の作家たち

多くの画家を輩出してきた在野団体、日本美術院に参加した作家の作品を通して、近代日本画史の一端をたどります。

◇建畠哲×MOMASコレクション

詩人/美術評論家としても活躍する館長・建畠哲による究極のMOMASセレクションです。

《関連イベント》

○サンデー・トーク

とき・5/21(日) 15:00~15:30

内容・学芸員が展示作品から1点を選んで展示室内で解説します。/作品・モリス・ユトリロ《旗で飾られたモンマルトルのサクレ=クール寺院》1919年(右図版)
担当学芸員・渋谷拓/費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。

※4/22(土)、4/23(日)を除く会期中の毎日14:00から30分程度、1階展示室で美術館サポーター(ガイド・ボランティア)による作品ガイドを開催します。参加にはMOMASコレクション観覧料が必要です。



ファミリー鑑賞会

とき・5/18(木) 11:00から1時間程度

ところ・1階展示室

内容・小さなお子様連れのご家族優先の時間を設け、美術館スタッフがMOMASコレクション第1期をご案内します。
申込・不要/費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。



昨年10月のファミリー鑑賞会

一般展示室(地階)

※日程・内容は変更される場合があります。最新の情報については各主催者へお問い合わせください。

※展示により観覧時間(特に最終日の終了時間)が異なります。

◆3/28(火)~4/2(日)

第45回主体美術武蔵野作家展(水彩、油彩、ドローイング)..... 一般展示室1

大槻姉妹展(日本画、油彩、工芸、クレパス)..... 一般展示室3

a ri A Ru Creationz The Art Project(水彩、油彩、ドローイング、版画、写真、パフォーマンスなど)..... 一般展示室4

◆4/4(火)~4/9(日)

2017「U展」(水彩、油彩、ドローイング、版画、彫刻)..... 一般展示室1・3

和田育子・丹野よし子二人展(工芸・染絵)..... 一般展示室2

第9回彩美展(日本画、水彩、油彩)..... 一般展示室4

◆4/11(火)~4/16(日)

第13回群炎埼玉支部展(日本画、水彩、油彩、彫刻、工芸、写真、創作人形)..... 一般展示室2

第34回自然写真の会「彩」写真展(写真)..... 一般展示室3

第25回涸水会展(日本画、水彩、油彩、書、水墨画、墨彩画、ちぎり絵)..... 一般展示室4

◆4/18(火)~4/23(日)

第33回さいたま闘秀100選展(書)..... 一般展示室1

フォト・トルトゥーガ展2017(写真)..... 一般展示室2

第6回栗田ひさし・梨伽の絵画二人展(日本画、水彩、色鉛筆、水墨画、墨彩画)..... 一般展示室3

第11回彩ポタニカルアート展(水彩)..... 一般展示室4

◆4/25(火)~4/30(日)

浦和写真クラブ作品展「自然と風土」(写真)..... 一般展示室2

阿佐見昭彦写真展 KIZUNA(写真)..... 一般展示室3

◆4/27(木)~4/30(日)

第41回女流工芸展(工芸)..... 一般展示室1

◆5/2(火)~5/7(日)

第21回埼玉二科展(油彩、彫刻、デザイン)..... 一般展示室1~4

◆5/30(火)~6/21(水)

第67回埼玉県美術展覧会(日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真)..... 一般展示室1~4ほか

しらせども しらせども

先日ある美術評論誌の中で、「埼玉県立近代美術館は、広報が余りにお粗末で本当に残念だ。興味深い展覧会が終わってしまっていることも多々ある」とのご批判をいただきました。批評家の手にさえ情報が行き届いていない、一般の方々には言わずもがな、ということを再認識し、広報の担当者として危機感を覚えています。上野恩賜公園に集まる美術館・博物館でさまざまな展覧会が催されていることは皆知っているけれども、北浦和公園に美術館があることさえ知らない人がまだまだ多いと言っていいかもしれません。残念ながら大きな広告を打てるだけの予算がない中で、どうすればより多くの人に美術館を、美術館で催しているものを認識してもらえるのか。これは、開館35周年を迎えてなお、当館の大きな課題として残されています。

この美術館では、ユニークで企画性のある展覧会、子供たちのためのワークショップ、クオリティの高いコンサート、映画の上映会など、年間を通して実に多くの催しを企画し、実施しています。これらの催しをより多くの人に認識してもらい、より多くの来場者・参加者を呼ぶことが、担当に課せられた大きな使命のひとつです。まずはこの使命の達成に向けて、あの手この手で皆さんの気を引こうと躍起になっています。ただ、氾濫する情報の中でこちらを向いてもらうためには、ただひたすらお知らせするだけでは足りません。一方通行ではなく、なるべくコミュニケーションが生まれるような双方向的な広報が必要だと考えています。

たとえば、いま皆さんに手にとっていただいているこの『ソカロ』。2年ほど前から読者投稿欄「はみだしソカロ」を設けたり、AR(拡張現実)アプリを使った動画を貼り付けたりと、読む側がより紙面にアクセスできるような双方向性を模索しています。紙面レイアウトもこれまでより自由度を増して、時にはアーティストに全面開放して構成するなど、読者の間でも少し話題にもらえるような広報紙を目指しています。

また、国内のネットユーザーの7割近くが利用していると言われているSNSは、美術館がフォロワーと直接やりとりできる貴重な媒体です。そもそもコミュニケーションツールであるSNSをただ一方的な告知媒体とするのはもったいないので、コメントでいただくお褒めの言葉や厳しいご意見、何気ない雑談にもできるだけお答えしていく、ときにはこちらから声をかけていくという使い方ができればと考えています。なにより、ここで生まれるコミュニケーションは、担当の大きなやりがいにもなります。

重要なのは、この双方向性を意識することが、「世の中と美術館をつなげる」という担当の長期的な使命を思い出させてくれることです。これを言うともたお叱りを受けるかもしれませんが、展覧会に人が多く入ること以上に、その過程で世の中と美術館との間にコミュニケーションが生まれることこそが大切なのだと。そして、それらの積み重ねが、大げさでなく美術館の将来を左右すると感じるのであります。(N.O.)



美術館スタッフのメキシコ土産、「EL ZOCALO」のポストカード。ここはメキシコシティの中心、基礎となる広場。重要な施設が集まり観光客も多く訪れるこの場所では、さまざまなコミュニケーションが生まれていることでしょう。当館もこの広場のように、人々が集まり交流する場を目指しています。

ミュージアム・ショップおすすめ商品

新しい頭の使い方、新感覚のDEDEkit(デデキット)を紹介します。手と頭を使い、創造し答えを導く過程を楽しむ商品です。図形を折り込み直線一回のはさみで切り出す「一刀切り問題」、平面に描いた絵を層にして立体を立ち上がらせる「レイヤーの彫刻」、27個の立方体を4分割して自分のパズルを作ることができる「3x3x3立体パズル」の3種類です。気持ちいい頭の使い方に出合えるでしょう。(M.N.)

《DEDEkit》
01 一刀切り問題：1,200円(税別)
02 レイヤーの彫刻：1,900円(税別)
03 3x3x3 立体パズル：1,500円(税別)



編集後記

2017年度版「ミュージアム・カレンダー」を刊行しました。デザインを一新し、開館35周年記念の「特別付録」『ソカロ』も付けてみました。時間という「イマジナリーな長さ」を紙の「リテラルな長さ」に託した『LONG-TERM ZOCALO』＝『ソカロ』。自由な発想でお楽しみください。レア度高めです。(G.U.)

2017年度版「ミュージアム・カレンダー」を刊行しました。デザインを一新し、開館35周年記念の「特別付録」『ソカロ』も付けてみました。時間という「イマジナリーな長さ」を紙の「リテラルな長さ」に託した『LONG-TERM ZOCALO』＝『ソカロ』。自由な発想でお楽しみください。レア度高めです。(G.U.)

AR動画

📷のマークが付いている写真にスマートフォンをかざすと、動画をご覧いただけます。無料ARアプリ「Aurasma」をApp StoreまたはGoogle Playでダウンロードしてお楽しみください。アプリの使い方については、当館ホームページの「広報紙ソカロ」のページをご参照ください。